

「Oncologic Emergencyによる気道狭窄に対し 放射線治療を行った症例の検討」 について

加古川中央市民病院放射線治療科では、現在、入院および外来通院患者さんのうち腫瘍により気道狭窄を生じた患者さんを対象に下記の研究を実施しております。

尚、この研究についてご質問がございましたら、最後に記しております【問い合わせ窓口】まで連絡ください。

【研究概要及び利用目的】

Oncologic emergency による気道狭窄は、進行すれば呼吸困難や閉塞性肺炎を生じさせるので、緊急照射が必要となります。それゆえ、画像評価から放射線治療照射までの経過が短期間であることが望ましいです。

今回、当院において気道狭窄解除目的で放射線治療を行った症例について治療適応や画像評価から放射線治療開始までの期間等について調査し、Oncologic emergency による気道狭窄に対して早期治療ができるアルゴリズムを検討します。

※Oncologic emergency：悪性腫瘍の経過中で急速に状態の悪化を来し緊急な治療を必要とする症状の総称

【研究期間】

研究期間：加古川中央市民病院長承認日 ～ 西暦 2026年3月31日

【取り扱うデータおよび試料・情報の項目】

2021年4月1日から2025年12月31日の間に加古川中央市民病院放射線治療科で気道狭窄解除目的の放射線治療を受けられた方の診療録より下記の情報を取得いたします。

基本情報：年齢、性別、病名

治療データ：放射線治療前後の胸部X線写真及びCT画像、放射線治療計画、生存確認、放射線治療前後の症状改善の有無（呼吸苦有無、酸素飽和度、酸素投与量）、画像評価日及び治療開始日

【個人情報保護の方法】

プライバシーの保護に配慮するため、患者さんの試料や情報は直ちに識別することができないよう、研究対象者識別番号リストを作成して加古川中央市民病院の3階医局の鍵のかかる保管庫で管理します。

研究成果を報告する時も個人が識別されないように行います。この研究に参加していただいた患者さんの個人情報については、本研究に関わる全ての研究者が守秘義務を順守するように徹底いたします。個人情報を外部機関へ提供することはありません。患者さんの個人情報は研究責任者が責任をもって保管します。

[試料・情報等の保存・管理分担者]

加古川中央市民病院 放射線治療科 責任者氏名：島田 知加子

[データおよび試料提供による利益・不利益]

利益：通常診療の情報を用いており、データをご提供頂いた患者さんの個人には特に利益になるようなことはありません。

不利益：診療録からのデータのみ利用するため特にありません。

[登録終了後のデータおよび試薬の取り扱いについて]

本研究において取得したデータ等は、研究期間中は加古川中央市民病院において厳重に保管いたします。研究終了後も少なくとも本研究の終了報告日から5年を経過した日または本研究の結果の最終の公表について報告された日から3年を経過したいずれか遅い日までの期間、当院内のデータベース内のみで管理し、プリントアウトや外部持ち出しは行いません。患者さん及びその家族等から本研究への参加拒否または同意撤回の申し出があった場合には、その方に関するデータはすみやかに廃棄します。

[研究成果の公表について]

研究成果は学術目的のための論文や学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定される情報は公表いたしません。

[研究へのデータ使用の取りやめについて]

いつでも可能です。患者様のデータを用いられたくない場合には、下記【問い合わせ窓口】までご連絡ください。取りやめの申し出を受けた場合、それ以降患者様のデータを本研究に用いることはありません。しかし、取りやめの申し出を受けた時点ですでに研究成果が論文などで公表されていた場合は廃棄できませんのでご了承ください。

[問い合わせ窓口]

加古川中央市民病院 放射線治療科
研究責任者名 島田 知加子
連絡先：079-451-5500